

平成29年度 事業計画

公益財団法人 日本レクリエーション協会

平成29年度 日本レクリエーション協会の事業計画案

基本方針

スポーツ・レクリエーションの推進と 福祉・教育分野でのレクリエーションの普及

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、スポーツに親しみ、健康づくりに取り組む人々が拡大するというオリンピック・レガシーを残すべく、加盟団体の活動・種目の普及に取り組み、スポーツ・レクリエーション事業を通じた地域での場づくり（健康スポレクひろば）に引き続き取り組みます。また、それを支える支援者として養成の準備を続けてきたスポーツ・レクリエーション指導者を資格制度に位置づけ、養成を開始します。

平成28年度は、福祉、教育分野でのレクリエーションの普及をめざし、レクリエーション・インストラクターの学習内容等の見直しや研修事業も行いました。平成29年度は、新しい学習内容・方法の普及と、教員のための研修会受講者のネットワーク化、公認指導者への情報提供の充実に取り組み、福祉・教育分野でのレクリエーションの普及を図っていきます。

<主な事業>

1) スポーツ・レクリエーションの推進

- (1) 加盟団体による東京2020参画プログラムの拡大
加盟団体の応援プログラム参画を推進し、活動・種目の普及を図る。
- (2) 健康スポレクひろば 実施地域の拡大
現在2地域で行われている健康スポレクひろばを、30地域程度に拡大。
- (3) スポーツ・レクリエーション指導者 養成開始
公認指導者への補講講習を進め、都道府県レク協会、課程認定校での養成を開始。

2) 福祉、教育分野でのレクリエーションの普及

- (1) レク・インストラクター 新しい学習内容・方法の普及
都道府県協会の新カリキュラムへの移行を促進。課程認定校・高等教育機関への普及にも取り組む。
- (2) 教員のためのレク研修会と受講者のネットワーク化
32講座（16地域・1200名）から60講座（24地域・2800名）に拡大。受講者のネットワークを創り、地域ごとの研修等の機会を設けるべく、ニーズ調査等を行う。
- (3) 公認指導者への情報提供の充実
公認指導者や受講生に、活動に役立つ情報を提供。登録システムの機能を向上させ、専用サイトを設置。都道府県レク協会の情報も発信しやすくする。

1. 人材養成事業

(1) レクリエーション普及研修

①教員のためのレクリエーション講習会

文部科学省より教員免許状更新講習開設者の認定を受け、2種の講習を夏期及び秋・冬期に開催地レクリエーション協会の協力を得て開催する。

「コミュニケーション力を高めるレクリエーションプログラムの体験学習」 12時間

「遊びが運動になる、運動が遊びになるレクリエーションプログラムの体験学習」 6時間

○夏季開催：24都府県・50講座 ・参加者数：延べ2,500名

・日程：平成29年7月下旬～8月下旬

・開催地：青森県、宮城県、福島県、栃木県、埼玉県、千葉県、神奈川県、東京都（2会場）、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、広島県、山口県、愛媛県、福岡県、長崎県、大分県、鹿児島県、沖縄県

○秋・冬季開催：首都圏・10講座 ・参加者数：延べ300名

・日程：平成29年11月～1月 ・東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

②教員のネットワーク化と実践・研修等に関する調査

教員のためのレクリエーション講習会受講者を対象にしたネットワークをつくり、定期的な情報提供と、実践研究や研修等に対するニーズ調査を行う。その結果をもとに継続的な研修機会の提供や教育分野へのレクリエーションの普及を図る。

(2) 公認指導者養成

レクリエーション・コーディネーター及び福祉レクリエーション・ワーカーの養成を行う。また、レクリエーション・インストラクター養成においては、新カリキュラムに基づいた各都道府県レク協会の講師トレーニング等も行い、スポーツ・レクリエーション指導者の養成も開始する。

①レクリエーション・コーディネーター養成

・通信教育講座：受講者40名 ・集合学習：宮城県にて3回開催

・審査会：東京都及び宮城県にて各1回開催

②福祉レクリエーション・ワーカー養成

・通信教育講座：受講者60名 ・集合学習：東京都及び鹿児島県で各3回開催

・審査会：東京都（2回）、鹿児島県の集合学習の会場にて開催（3回）

③資格認定委員会

上記専門資格の審査及び、課程認定校の認定を行う（事務局にて3回開催）。

④レク・インストラクター 新カリキュラムの実施環境整備

新カリキュラムを普及するために、都道府県レクリエーション協会の講師トレーニングを対象とした研修会を行う。

・東京都、大阪府にて各2回実施。参加者：50名（各会場）

また、新カリキュラムでの養成を始める都道府県レク協会・講師に向けた理論科目解説、実技教材、演習ワークシートなどの資料を作成、頒布する。

新カリキュラムの理論科目については、課題レポートの合格によって修了を認める学習方法を開始する（10都道府県（100名）程度の履修を想定）。

⑤スポーツ・レクリエーション指導者養成

平成28年度、福島県レクリエーション協会にて行ったモデル事業をもとに、都道府県レクリエーション協会での養成を開始する。福島県ほか数都県での実施を予定。

(3)高等教育機関での公認指導者養成

専門学校、短大、大学等での公認指導者の養成を行うため、課程認定校の審査・認可（約300校・継続含む）、及び専門資格についての学内審査等を行う。

平成29年度は、スポーツ・レクリエーション指導者の養成課程認定を開始し、新しい学習課程・資格の周知・普及に取り組む。

また、レク・インストラクター新カリキュラムの課程認定校への普及を促進し、学習を支援するための実践例等の収集や研究に取り組み、印刷物や課程認定校集会等を通じて情報を提供する。

(4)公認指導者認定・登録

都道府県・市町村レクリエーション協会、課程認定校で養成された公認指導者の登録に関わる業務を行う。（一般養成約800人、課程認定校約5000人、専門資格約250人）

また、試行を続けてきたスポーツ・レクリエーション指導者を資格制度の中に位置づけ、既に補講講習を履修した公認指導者も含めて、認定・登録を開始する。

2. 指導者の活動支援と地域組織支援

レクリエーション活動の普及に取り組む公認指導者の資質を維持向上するため、登録更新を行いながら情報の提供と再教育を行う。また、加盟団体、都道府県レクリエーション協会への情報提供及び共有の機会を設け、公認指導者の活動促進や組織づくりを支援する。

(1) スポーツ・レクリエーション指導者養成事業(移行講習)

スポーツ・レクリエーション指導者については、都道府県レク協会及び課程認定校において養成を開始するほか、引き続き地域の公認指導者を対象とした移行講習（再教育）を全国6会場（ブロックごと）で実施する。

(2) 情報提供

レクリエーションの普及に関する考え方、ノウハウ、実践現場で行われている活動・種目等の情報を情報誌「レクルー」、専門情報誌「レクサイト」の発行により、公認指導者や関係機関へ提供する。また、ホームページと連動した紙面づくりを目指し、より充実した公認指導者への情報提供を目指す。

①情報誌「レクルー」の発行：年6回 A4判本誌40ページ

②専門情報誌「レクサイト」の発行：年2回 A4判本誌24ページ

(3) 活動支援及び活動拠点整備

加盟団体の活動を支援するために、加盟団体助成金を交付する。また、加盟団体運営代表者会議、ブロック会議等を開催し、公認指導者の活動拠点の整備や組織づくりについて情報の提供、共有を行う。

①加盟団体運営代表者会議：12月開催（東京都）

②ブロック会議：6月開催（全国6会場）

(4) 公認指導者登録更新

公認指導者の登録更新に関わる業務を行う。（更新者：約17,275人 レク・インストラクター更新率64%）

また、登録システムの見直しも行う。課程認定校の学生等が受講中から登録ができ、携帯端末等を通して学習に資する情報を利用し、登録情報の変更・更新が簡易に行えるシステムの構築を目指す。

その一環として、情報誌「レクルー」等の著作物を手軽に公認指導者が利用できるようにするための環境整備や、レクリエーション活動や学習に関する動画の閲覧環境の整備を行う。

3. レクリエーションの普及啓発事業

(1) 全国イベント・啓発

① 全国レクリエーション大会

函館市を中心とする道南地域にて、第71回全国レクリエーション大会 in 北海道を開催し、全国のレクリエーション関係者との交流、各専門領域におけるレクリエーションに関する研究や実践の成果の発表や協議等を実施する。

- ・ 日程：平成29年9月15日（金）～17日（日）
- ・ 開催地：北海道函館市、北斗市、森町、七飯町、恵庭市

また、平成30年度の第72回大会は高知県での開催が決定し、開催種目の調整など、準備委員会による事前準備に取り掛かる。

なお、それ以降の全国レクリエーション大会の開催について、開催地誘致のための支援や関係機関への働きかけを行う。

② 全国一斉「あそびの日」キャンペーン

平成29年4月15日（土）から6月11日（日）にかけて、第14回目を迎える「全国一斉『あそびの日』キャンペーン2017」を開催する。レクリエーション協会関係で約300プログラムが参画、約9万人の参加者を見込む。

(2) 生涯スポーツ推進

① 「健康スポレクひろば」普及推進事業

運動と疎遠だった高齢者を対象に、気軽にスポーツ・レクリエーション活動や交流を楽しめる「健康スポレクひろば」（元気クラブ）を全国に創設する。昨年度からの継続地区20地区程度のほか、新規実施15地区を創設し、全国30地区程度で実施する。「健康スポレクひろば」での健康寿命延伸効果を明らかにし、有用性を高め、次年度以降のさらなる充実を目指す。

② 子どもの体力向上課題対策プロジェクト

平成29年度よりスポーツ庁から委託を受けて取り組んでいる「子どもの体力向上課題対策プロジェクト」を継続実施する。子どもが、主体的に運動習慣を身につけていく仕組みや支援の在り方等についての調査研究を行う。

③ 総合型地域スポーツクラブ自立支援事業およびクラブマネージャー設置支援事業

柏市レクリエーション協会と連携して設立・運営する「かしわレクスポクラブあそび

ん」(千葉県柏市)の自立運営とクラブマネージャー設置を支援する。加盟団体、関係団体との連携のもと、地域で気軽に健康づくりに取り組める場づくりを目指す。

- ・活動拠点：柏市中央体育館、柏市立柏の葉小学校、柏市立第一小学校
- ・定期的な活動種目：6種目　　・総参加者数：1450名(小学生～60代以降)

(3)その他のレク普及

①チャレンジ・ザ・ゲーム

日本レクリエーション協会内にチャレンジ・ザ・ゲーム全国本部を設け、都道府県レクリエーション協会(都道府県本部)と連携し、チャレンジ・ザ・ゲーム大会の普及活動、普及審判員の養成、記録の管理を行う。特に、本年度は課程認定校への普及活動に力点を置き、授業の教材としての活用を促進する。

- ・普及審判員養成講習：11月～2月にかけて全国5会場で実施

②講師派遣

介護職員や介護予防ボランティアに向けた講習会、東京オリンピック・パラリンピックの推進活動に伴う小学校等でのスポーツ・レクリエーション活動促進などへの講師の派遣を行う。また、職員や公認指導者の講師トレーニングにも取り組む。

4. レクリエーションの普及・振興につながる用具・書籍等の開発・販売拡大

レクリエーション支援に効果的に活用できる用具・書籍を紹介する「レクリエーション・カタログ2017」を発行し、全国約3万箇所の福祉施設、関連機関・団体へ配布する。(発行部数：65,000部。グッズ約170種、書籍約170点掲載)

また、全国レクリエーション大会をはじめ、関係団体が実施する大会、会議等を活用した展示ブースで多くの関係者へ配布する。

第71回全国レクリエーション大会 in 北海道(北海道)／全国スポーツ推進委員研究協議会(茨城県)／生涯スポーツ・体力づくり全国会議(広島県)／ゲームマーケット(東京ビッグサイト) 等

日本レクリエーション協会オリジナル用具については、既存の使用法以外のアレンジについても情報を発信し、販売強化を図る。書籍については、レク・インストラクター養成講習会テキストをはじめ、教員向けの書籍を発行し、講習会での活用、販売を行う。

なお、教員免許状更新講習など、講習の機会等を活用した書籍、用具の販売促進を強化するなど、日本レクリエーション協会が行う事業、広報媒体、ホームページの活用及び都道府県レクリエーション協会、加盟種目団体との連携協力をより強化しながら、販売を強化する。

5. その他

レクリエーション功労者表彰及び表彰推薦

表彰規程に基づき、レクリエーション活動の普及に貢献してきた功労者並びに団体を表彰する。また、文部科学大臣生涯スポーツ功労者表彰及び社会教育功労者表彰、内閣府エイジレス・ライフ実践者、紺綬褒章の候補者等を推薦する。